



調査研究事業 第3回勉強会開催のお知らせ

一般財団法人在宅ケアもの・こと・思い研究所

平素より在宅ケアもの・こと・思い研究所の活動および運営についてご理解、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

さてこのたび、在宅ケアにおける「もの」「こと」の課題と「思い」を共有する勉強会の第3回を**2月20日（火）午後6時**から開催させていただきます。患者・家族の立場からはどのような課題が見え、また現在実施中の不便さ調査ではどのような発見があるのでしょうか。

皆さま方のご参加をお待ち申し上げますので、ぜひお運び願えますよう宜しくお願いいたします。

テーマ	当事者による「もの・こと」の工夫と介護体験
◆ 日時	2018年2月20日（火）18:00~20:00（受付17:30~）
◆ 会場	共用品推進機構（東京都千代田区猿樂町2-5-4 OGAビル2階）
◆ 対象	患者・家族、在宅ケア従事者・研究者、賛助会員、行政関係者他
◆ 参加費	無料
<プログラム>	
18:00 ~ 18:05	1. 開会のご挨拶 中村春基理事
18:05 ~ 19:00	2. 見えない立場での在宅介護 高梨憲司氏 （特定非営利活動法人 千葉市視覚障害者協会 副理事長） 講演内容 :一昨年3月29日に自宅でくも膜下出血に倒れた奥さまの介護を始めた高梨氏。救急病院、リハビリ病院、そして在宅と介護生活は続きました。現在の奥さまとの穏やかな生活に至るまでの介護の日々を「もの・こと」の工夫を交えてお話いただきます。 プロフィール :1949年千葉県富山町（現 南房総市）に生まれる。小学生の時の怪我がもととなり高校生で完全失明。盲学校を経て大学に進学し、71年卒業と同時に盲児施設に児童指導員として就職。その後43年余りの間に同園の園長、知的障害者や視覚障害者支援施設・視覚障害者情報提供施設の施設長を経て現在に至る。また、94年より行政の委託を受けて在宅障害者の相談事業に従事する。その他、自分にできるボランティア活動として84年より小・中学校において青少年の福祉教育に取り組む。
19:00 ~ 19:15	3. 質疑 中村春基理事
19:15 ~ 19:55	4. 事業の報告 ～「地域包括ケアシステムおよび在宅ケアに係るサービス・製品等に付随する課題把握のフィジビリティスタディ」について 調査研究ワーキングチーム 井上薫氏（首都大学東京）、田中勇次郎氏（東京都作業療法士会）、中村春基氏（日本作業療法士協会）、星川安之氏（共用品推進機構）、矢筈原隆史氏（作業療法士）、森田朝子（在宅ケアもの・こと・思い研究所）
19:55 ~ 20:00	5. 閉会のご挨拶 田中勇次郎氏（調査研究ワーキングチーム）

※諸事情によりプログラム内容等に変更が生じる場合がございます。予めご了承ください。

主催：一般財団法人在宅ケアもの・こと・思い研究所

協力：公益財団法人共用品推進機構、一般社団法人日本作業療法士協会

FAX: 03-6801-5899

(e-mail: info@monokotoomoi.or.jp)

一般財団法人在宅ケアもの・こと・思い研究所
事務局（山中） 行

*

「調査研究事業 第3回勉強会」

(2018年2月20日(火) 18:00~20:00)

参加申込書

団体・会社名			
御所属先等			
参加者お名前			
TEL		FAX	
E-Mail			

会場準備の都合上、出欠のご意向をFAXまたはメールにて事務局までお知らせ願えますと幸いです。

締め切り期日：2月15日(木)